

# 基礎研 レター

## コロナ禍における生活の変化(4)

—「新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」からみる  
生活不安の変化と地域間較差

生活研究部 主任研究員 井上 智紀  
(03)3512-1813 tomoki@nli-research.co.jp

### 1— はじめに

先日公表した[拙稿](#)<sup>1</sup>では、弊社が継続実施してきた「[新型コロナによる暮らしの変化に関する調査](#)<sup>2</sup>」から、昨年9月以降の生活実態と生活時間の変化について地域別に分析した結果を示した。本稿では引き続き同調査を用い、各調査時点である昨年9月、12月および今年3月の生活に対する不安として、感染不安、経済不安、働き方不安、家族関係不安と人間関係不安、行動不安のそれぞれについて、地域ごとに各時点の状況および時点間の変化を概観していく。

### 2— 感染不安

コロナ禍での感染に関わる不安についてみると、[第2回調査](#)を実施した昨年9月時点では、「感染が懸念されても適切な検査が受けられない」は愛知県で、「感染しても適切な治療が受けられない」は南九州で高く、「自分や家族の感染による世間からの偏見や中傷」は甲信越、北陸、東海で、「自分や家族の感染による人間関係への悪影響」は甲信越、東海および愛知県、南九州で高くなっている。また、[第3回調査](#)を実施した昨年12月時点では、「自分や家族の感染による健康状態の悪化」は東北で、「感染が懸念されても適切な検査が受けられない」は愛知県で、「感染しても適切な治療が受けられない」は北関東、愛知県で、「自分や家族の感染による世間からの偏見や中傷」は甲信越、東海および愛知県、四国で、「自分や家族の感染による人間関係への悪影響」は北陸、愛知県、四国でそれぞれ高く、[第4回調査](#)を実施した今年3月時点では、「自分や家族の感染による健康状態の悪化」は東海および愛知県、南九州で、「感染が懸念されても適切な検査が受けられない」「感染しても適切な治療が受けられない」は愛知県、四国で、「自分や家族の感染による世間からの偏見や中傷」は甲信越、北陸、東海および愛知県、四国で、「自分や家族の感染による人間関係への悪影響」は東北、甲信越、東海および愛知県で、それぞれ高くなっている。

9月から12月にかけての変化では「自分や家族の感染による健康状態の悪化」「感染が懸念されて

<sup>1</sup> 井上智紀(2021)「[コロナ禍における生活の変化\(3\) — 「新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」からみる生活行動の変化と地域間較差](#)」『基礎研レター』(2021/05/07)

<sup>2</sup> 調査概要等、調査の詳細は弊社サイト内の[特設ページ](#)を参照されたい。

も適切な検査が受けられない」「感染しても適切な治療が受けられない」が多くの地域で増加している一方で、「自分や家族の感染による世間からの偏見や中傷」では甲信越、北陸、近畿および大阪府、南九州で、「自分や家族の感染による人間関係への悪影響」では甲信越、東海、中国、南九州で減少している。また、12月から3月にかけての変化では、「感染しても適切な治療が受けられない」はほとんどの地域で、「自分や家族の感染による健康状態の悪化」「感染が懸念されても適切な検査が受けられない」「自分や家族の感染による世間からの偏見や中傷」「自分や家族の感染による人間関係への悪影響」は多くの地域で、それぞれ減少している。

図表 1 感染不安

(単位：%)

		自分や家族の感染による健康状態の悪化		感染が懸念されても適切な検査が受けられない		感染しても適切な治療が受けられない		自分や家族の感染による世間からの偏見や中傷		自分や家族の感染による人間関係への悪影響	
全体	9月	60.8	↑	53.9		55.6	↑	56.3		51.0	
	12月	64.0		55.1		59.6		55.3		49.6	
	3月	57.8	↓	49.3	↓	53.0	↓	49.8	↓	45.7	↓
北海道	9月	56.8		49.6	↓	54.4		55.2		47.2	
	12月	55.8		45.8		55.0		56.7		45.8	
	3月	53.4		45.8		48.3	↓	42.4	↓	43.2	
東北	9月	57.1	↑	52.7		55.4		58.0		51.8	
	12月	71.2		51.7		56.8		55.1		50.0	
	3月	52.5	↓	50.8		52.5	↓	53.4		52.5	
北関東	9月	63.0	↑	50.6	↑	56.8	↑	54.3		51.9	
	12月	67.5		57.1		64.9		54.5		53.2	
	3月	56.2	↓	46.6	↓	47.9	↓	53.4		50.7	
南関東	9月	60.9	↑	55.1		57.0		51.8		47.8	
	12月	63.9		57.5		59.8		52.2		47.4	
	3月	57.8	↓	50.3	↓	54.6	↓	45.5	↓	41.7	↓
うち東京都	9月	58.6		51.0	↑	55.0		47.0		45.4	
	12月	61.4		55.1		57.3		49.8		46.8	
	3月	57.8	↓	49.5	↓	51.6	↓	42.9	↓	38.5	↓
甲信越	9月	64.9		50.0	↑	50.0	↑	66.2	↓	59.5	↓
	12月	67.7		58.1		62.9		61.3		51.6	
	3月	56.5	↓	51.6	↓	54.8	↓	58.1	↓	56.5	↑
北陸	9月	60.6	↑	51.5	↑	42.4	↑	66.7	↓	48.5	↑
	12月	67.6		55.9		52.9		58.8		58.8	
	3月	56.4	↓	35.9	↓	46.2	↓	64.1	↑	38.5	↓
東海	9月	61.5		57.9		57.9	↑	62.7		58.3	↓
	12月	64.2		59.3		64.2		60.9		54.3	
	3月	64.2		53.0	↓	57.3	↓	60.8		52.6	
うち愛知県	9月	61.1	↑	59.1	↑	60.4	↑	58.4	↑	56.4	
	12月	65.7		62.1		68.6		62.9		57.9	
	3月	65.7		55.0	↓	60.7	↓	59.3	↓	52.9	↓
近畿	9月	61.1	↑	55.4		57.0	↑	59.0	↓	51.0	
	12月	64.3		54.3		60.0		55.8		48.4	
	3月	55.6	↓	47.4	↓	51.8	↓	47.7	↓	46.4	
うち大阪府	9月	60.5	↑	56.9		58.1		59.9	↓	46.1	
	12月	67.1		54.5		59.3		53.3		44.3	
	3月	58.0	↓	46.0	↓	54.0	↓	43.7	↓	42.5	
中国	9月	59.6		47.9	↑	47.9	↑	53.2		55.3	↓
	12月	61.0		53.0		55.0		56.0		47.0	
	3月	60.4		46.2	↓	53.8		53.8		49.1	
四国	9月	60.0	↑	55.0	↑	52.5	↑	55.0	↑	52.5	↑
	12月	65.2		58.7		63.0		67.4		56.5	
	3月	54.5	↓	56.8		59.1	↓	56.8	↓	50.0	↓
北九州	9月	64.4		49.0	↓	49.0	↑	52.9		43.3	↑
	12月	61.8		45.1		52.9		51.0		53.9	
	3月	59.0		47.6		44.8	↓	48.6		41.9	↓
南九州	9月	60.0	↑	52.9		61.4		60.0	↓	57.1	↓
	12月	63.2		54.4		61.8		52.9		50.0	
	3月	66.7	↑	51.7		53.3	↓	48.3	↓	38.3	↓

全体±5%pt以上に網掛け

9～12月、12月～3月で±3%pt以上の差がある場合に数値右側に上下矢印

### 3— 経済不安

コロナ禍で経済に関わる不安についてみると、第2回調査を実施した昨年9月時点では、「世界経済が悪化し、世界大恐慌に陥る」は甲信越、北陸、愛知県、北九州で、「日本経済が悪化し、企業業績や雇用環境が悪化」は甲信越、愛知県で、「東京五輪が開催されず、日本経済がさらに悪化」は北陸、愛知県で、「勤務先の業績悪化による収入減少、雇用の不安定化」は甲信越、愛知県、中国で、「自分や家族の収入減少」は甲信越、北陸、東海および愛知県で、「自分や家族が仕事を失う」は甲信越、北陸、東海で、それぞれ高くなっている。また、第3回調査を実施した昨年12月時点では、「世界経済が悪化し、世界大恐慌に陥る」は北陸、四国で、「日本経済が悪化し、企業業績や雇用環境が悪化」は愛知県、四国で、「東京五輪が開催されず、日本経済がさらに悪化」は東海および愛知県、四国で、「勤務先の業績悪化による収入減少、雇用の不安定化」は東北、甲信越、愛知県、四国で、「自分や家族の収入減少」「自分や家族が仕事を失う」は甲信越、北陸、愛知県で高く、「自分や家族が仕事を失う」は四国でも高い。第4回調査を実施した今年3月時点では、「世界経済が悪化し、世界大恐慌に陥る」は東海で、「日本経済が悪化し、企業業績や雇用環境が悪化」は甲信越、北陸、東海で、「東京五輪が開催されず、日本経済がさらに悪化」は北海道、甲信越、北九州で、「勤務先の業績悪化による収入減少、雇用の不安定化」は東北、甲信越、東海および愛知県で、「自分や家族の収入減少」「自分や家族が仕事を失う」は東北、北陸、東海および愛知県で高くなっている。

9月から12月にかけての変化では、「世界経済が悪化し、世界大恐慌に陥る」は北海道、東北、中国、四国で、「日本経済が悪化し、企業業績や雇用環境が悪化」は北関東、四国、南九州で、「東京五輪が開催されず、日本経済がさらに悪化」は中国、四国、南九州で増加している。一方、12月から3月にかけては、これらの不安項目は一部の地域を除いてほぼ全面的に減少しており、総じてマクロの経済環境に対する不安は払拭に向かっているように見受けられる。身近な経済環境に対する不安についても同様に、9月から12月にかけては「勤務先の業績悪化による収入減少、雇用の不安定化」は北海道、北関東、東京都、愛知県、北九州で、「自分や家族の収入減少」は東京都、四国で、「自分や家族が仕事を失う」は東京都、中国、四国、北九州で増加していたものが、12月から3月にかけてはほとんどの地域で減少に転じている。

図表 2 経済不安

(単位：%)

		世界経済が悪化し、世界大恐慌に陥る	日本経済が悪化し、企業業績や雇用環境が悪化	東京五輪が開催されず、日本経済がさらに悪化	勤務先の業績悪化による収入減少、雇用の不安定化	自分や家族の収入減少	自分や家族が仕事を失う
全体	9月	63.7	68.1	40.3	54.0	51.6	43.5
	12月	64.4	67.6	39.1	54.2	52.7	44.1
	3月	58.1 ↓	61.4 ↓	32.9 ↓	48.3 ↓	45.3 ↓	39.3 ↓
北海道	9月	54.4 ↑	63.2	33.6	34.9 ↑	37.6	31.2
	12月	58.3	65.8	30.8	49.4	40.0	33.3
	3月	55.9	62.7 ↓	39.0 ↑	39.7 ↓	42.4	34.7
東北	9月	61.6 ↑	65.2	39.3	57.9	53.6	46.4
	12月	66.1	66.9	39.0	60.0	54.2	44.9
	3月	61.9 ↓	60.2 ↓	31.4 ↓	54.9 ↓	51.7	44.9
北関東	9月	65.4	59.3 ↑	39.5	49.2 ↑	51.9	46.9
	12月	67.5	71.4	40.3	53.8	49.4	44.2
	3月	50.7 ↓	50.7 ↓	35.6 ↓	50.9	38.4 ↓	37.0 ↓
南関東	9月	61.5	68.1	39.5 ↓	53.9	49.6	41.4
	12月	62.2	65.7	35.6	51.9	51.9	42.8
	3月	58.0 ↓	61.6 ↓	30.8 ↓	45.8 ↓	43.6 ↓	38.3 ↓
うち東京都	9月	59.4	66.5	35.1	51.4 ↑	45.0 ↑	37.1 ↑
	12月	59.6	65.5	33.7	54.4	50.9	42.3
	3月	57.1	62.9	30.2 ↓	45.9 ↓	45.5 ↓	37.8 ↓
甲信越	9月	68.9	79.7 ↓	43.2 ↓	67.3	66.2 ↓	62.2 ↓
	12月	67.7	71.0	37.1	68.1	62.9	50.0
	3月	61.3 ↓	69.4	41.9 ↑	66.7	50.0 ↓	33.9 ↓
北陸	9月	75.8 ↓	72.7 ↓	45.5 ↓	60.7 ↓	57.6	54.5 ↓
	12月	70.6	67.6	38.2	53.8	58.8	50.0
	3月	59.0 ↓	66.7	33.3 ↓	55.2	51.3 ↓	53.8 ↑
東海	9月	67.1	69.4	45.2	55.7	58.3	48.8
	12月	66.7	72.0	44.4	56.8	57.6	48.1
	3月	66.4	66.4 ↓	36.6 ↓	54.0	50.4 ↓	46.6
うち愛知県	9月	69.1	75.2	47.0	59.4 ↑	61.1	47.0
	12月	67.1	74.3	45.0	62.7	60.7	49.3
	3月	62.9 ↓	65.7 ↓	37.1 ↓	58.0 ↓	52.1 ↓	47.1
近畿	9月	67.8	70.4 ↓	42.8	56.5	54.9	45.9
	12月	66.7	67.2	43.4	53.8	55.3	44.9
	3月	57.1 ↓	62.0 ↓	31.1 ↓	44.0 ↓	46.2 ↓	38.0 ↓
うち大阪府	9月	62.3	66.5	43.7	55.7	56.3	44.9
	12月	63.5	66.5	43.1	57.0	56.3	44.3
	3月	56.9 ↓	60.3 ↓	31.6 ↓	41.9 ↓	43.1 ↓	37.4 ↓
中国	9月	56.4 ↑	62.8	31.9 ↑	59.4 ↓	50.0	38.3 ↑
	12月	62.0	64.0	36.0	53.6	50.0	43.0
	3月	59.4	58.5 ↓	30.2 ↓	50.6	47.2	41.5
四国	9月	52.5 ↑	62.5 ↑	42.5 ↑	48.1 ↑	40.0 ↑	40.0 ↑
	12月	69.6	73.9	56.5	60.0	56.5	56.5
	3月	50.0 ↓	61.4 ↓	36.4 ↓	64.3 ↑	50.0 ↓	38.6 ↓
北九州	9月	70.2 ↓	68.3	44.2	48.6 ↑	49.0	32.7 ↑
	12月	64.7	67.6	44.1	56.1	47.1	47.1
	3月	51.4 ↓	52.4 ↓	38.1 ↓	44.3 ↓	39.0 ↓	34.3 ↓
南九州	9月	64.3	68.6 ↑	28.6 ↑	51.9	45.7	44.3 ↓
	12月	61.8	72.1	32.4	50.0	48.5	36.8
	3月	51.7 ↓	56.7 ↓	28.3 ↓	50.0	36.7 ↓	35.0

全体±5%pt以上に網掛け（「勤務先の業績悪化による収入減少、雇用の不安定化」の北陸、四国の9月、3月および北陸の12月はサンプルに限られるため参考値）

9～12月、12月～3月で±3%pt以上の差がある場合に数値右側に上下矢印

#### 4— 働き方不安

コロナ禍での働き方に関わる不安についてみると、第2回調査を実施した昨年9月時点では、「在宅勤務が増え、集中力やモチベーションが低下する」、「在宅勤務が増え、コミュニケーションが取りにくくなる」は東京都で高く、「在宅勤務が増え、時間管理型から成果主義へ変わる」は北関東、中国で、「在宅勤務ができる仕事ではないため、継続しにくくなる」は甲信越で高くなっている。また、第3回調査を実施した昨年12月時点では「在宅勤務が増え、労働時間が長くなる」は四国、北九州、南九州で、「在宅勤務が増え、集中力やモチベーションが低下する」は東北、東海、南九州で、「在宅勤務が増え、コミュニケーションが取りにくくなる」「在宅勤務が増え、残業代が減る」は四国で、「在宅勤務が増え、時間管理型から成果主義へ変わる」は大阪府、四国、南九州で高く、第4回調査を実施した今年3月時点では、「在宅勤務が増え、労働時間が長くなる」は東北で、「在宅勤務が増え、集中力やモチベーションが低下する」は東海および愛知県、南九州で、「在宅勤務が増え、コミュニケーションが取りにくくなる」は北関東で、「在宅勤務が増え、残業代が減る」は東北、愛知県、中国で、「在宅勤務が増え、時間管理型から成果主義へ変わる」は東北、愛知県、南九州で、「在宅勤務ができる仕事ではないため、継続しにくくなる」は東北、北関東、愛知県、中国、南九州で高くなっている。

9月から12月にかけての変化では、「在宅勤務が増え、労働時間が長くなる」は東北、東京都、北九州、南九州で、「在宅勤務が増え、集中力やモチベーションが低下する」は東北、東海および愛知県、南九州で、「在宅勤務が増え、コミュニケーションが取りにくくなる」は中国、北九州、南九州で、「在宅勤務が増え、残業代が減る」は北関東、甲信越、東海および愛知県、北九州、南九州で、それぞれ増加している。また、「在宅勤務が増え、時間管理型から成果主義へ変わる」は北海道、甲信越、近畿および大阪府、南九州で、「在宅勤務ができる仕事ではないため、継続しにくくなる」は東京都、甲信越を除く全ての地域で増加している。一方、12月から3月にかけては、「在宅勤務が増え、労働時間が長くなる」「在宅勤務が増え、集中力やモチベーションが低下する」は北海道、北関東、大阪府、中国で、「在宅勤務が増え、コミュニケーションが取りにくくなる」は北関東で、「在宅勤務が増え、残業代が減る」は北海道、東北、中国で、「在宅勤務が増え、時間管理型から成果主義へ変わる」は東北、北関東、愛知県、中国で、「在宅勤務ができる仕事ではないため、継続しにくくなる」は中国で、それぞれ増加している。

図表 3 働き方不安

(単位：%)

		在宅勤務が増え、労働時間が長くなる	在宅勤務が増え、集中力やモチベーションが低下する	在宅勤務が増え、コミュニケーションが取りにくくなる	在宅勤務が増え、残業代が減る	在宅勤務が増え、時間管理型から成果主義へ変わる	在宅勤務ができない仕事ではないため、継続しにくくなる	
全体	9月	20.4	22.3	19.3	12.9	16.2	27.3	↑
	12月	20.5	22.7	19.4	14.1	17.6	31.7	
	3月	19.5	21.4	16.6	10.8	14.5	25.9	↓
北海道	9月	13.3	14.5	13.3	9.6	10.8	10.8	↑
	12月	7.6	10.1	10.1	6.3	13.9	19.0	
	3月	14.1	15.4	12.8	10.3	10.3	19.2	
東北	9月	13.2	26.3	19.7	15.8	15.8	27.6	↑
	12月	23.8	32.5	22.5	15.0	17.5	33.8	
	3月	25.6	23.2	17.1	19.5	20.7	32.9	
北関東	9月	24.6	21.3	19.7	11.5	23.0	29.5	↑
	12月	9.6	17.3	13.5	15.4	11.5	34.6	
	3月	20.8	17.0	22.6	13.2	17.0	34.0	
南関東	9月	21.7	26.3	22.3	15.7	15.9	28.6	↑
	12月	23.4	23.0	19.2	14.2	14.4	33.3	
	3月	19.0	22.0	16.7	8.7	12.1	21.8	↓
うち東京都	9月	19.2	27.7	24.9	14.1	14.1	24.9	
	12月	22.2	23.9	21.1	12.8	16.1	27.8	
	3月	22.2	23.7	20.6	10.3	17.5	19.6	↓
甲信越	9月	16.4	20.0	18.2	9.1	9.1	34.5	↓
	12月	17.0	21.3	19.1	12.8	17.0	23.4	
	3月	20.0	13.3	15.6	2.2	11.1	22.2	
北陸	9月	10.7	14.3	3.6	0.0	3.6	28.6	↓
	12月	19.2	26.9	26.9	11.5	15.4	19.2	
	3月	13.8	10.3	10.3	3.4	10.3	27.6	↑
東海	9月	18.4	20.7	19.5	12.6	19.0	29.3	↑
	12月	20.5	28.4	21.6	16.5	20.5	32.4	
	3月	15.5	28.0	18.0	13.7	18.6	25.5	↓
うち愛知県	9月	21.8	16.8	18.8	8.9	16.8	26.7	↑
	12月	17.6	27.5	19.6	16.7	16.7	34.3	
	3月	16.0	29.0	19.0	16.0	20.0	33.0	
近畿	9月	21.8	19.5	19.1	12.2	16.4	26.7	↑
	12月	18.3	18.6	17.6	12.9	21.5	30.8	
	3月	21.1	20.7	14.7	10.2	14.7	27.1	↓
うち大阪府	9月	21.7	19.8	18.9	16.0	17.9	27.4	↑
	12月	15.0	18.7	15.9	13.1	27.1	30.8	
	3月	19.0	25.7	16.2	11.4	17.1	23.8	↓
中国	9月	23.2	21.7	14.5	15.9	21.7	26.1	↑
	12月	13.0	17.4	20.3	15.9	14.5	36.2	
	3月	24.1	24.1	20.3	20.3	17.7	41.8	↑
四国	9月	29.6	18.5	18.5	11.1	11.1	22.2	↑
	12月	26.7	23.3	26.7	23.3	26.7	36.7	
	3月	14.3	21.4	17.9	10.7	10.7	28.6	↓
北九州	9月	22.2	25.0	18.1	8.3	18.1	31.9	↑
	12月	30.3	27.3	24.2	12.1	18.2	36.4	
	3月	22.9	12.9	20.0	8.6	11.4	24.3	↓
南九州	9月	23.1	19.2	17.3	9.6	17.3	23.1	↑
	12月	29.2	31.3	22.9	18.8	27.1	31.3	
	3月	20.5	31.8	13.6	11.4	25.0	31.8	

全体±5%pt以上に網掛け（北陸、四国の9月、3月および北陸の12月はサンプルが限られるため参考値）

9～12月、12月～3月で±3%pt以上の差がある場合に数値右側に上下矢印

## 5— 家族関係不安(子どもや高齢家族)

コロナ禍で子どもに関わる不安についてみると、第2回調査を実施した昨年9月時点では、「休校などによる学習の遅れ」は北陸、愛知県、四国で高く、「休校などにより身体的な成長が十分でないこと」は東海および愛知県、四国で、「休校などにより精神的な成長が十分でないこと」は四国で高い。また、第3回調査を実施した昨年12月時点では「休校などによる学習の遅れ」「休校などにより身体的な成長が十分でないこと」「休校などにより精神的な成長が十分でないこと」のいずれも愛知県で高く、第4回調査を実施した今年3月時点では「休校などによる学習の遅れ」は甲信越、愛知県で、「休校などにより身体的な成長が十分でないこと」は甲信越で、「休校などにより精神的な成長が十分でないこと」は甲信越、北陸で、それぞれ高くなっている。9月から12月にかけての変化では、いずれの項目についてもほとんどの地域で横ばいしないし減少している中、「休校などによる学習の遅れ」は南九州で、「休校などにより身体的な成長が十分でないこと」は東北、中国で、「休校などにより精神的な成長が十分でないこと」は愛知県、中国で、それぞれ増加している。12月から3月にかけても同様に多くの地域で横ばいしないし減少している中、「休校などによる学習の遅れ」は東京都、甲信越で、「休校などにより身体的な成長が十分でないこと」は甲信越で、「休校などにより精神的な成長が十分でないこと」は北海道、甲信越、北陸で、それぞれ増加している。

高齢の家族に関わる不安についてみると、第2回調査を実施した昨年9月時点では、「生活維持が難しくなる」は北陸、中国、北九州で、「コミュニケーション機会減少による老化や認知機能低下」は東北、愛知県、中国でそれぞれ高く、第3回調査を実施した昨年12月時点では、「生活維持が難しくなる」は北関東、甲信越、北陸で、「運動不足による老化や身体機能低下」は北関東、中国、四国で、「コミュニケーション機会減少による老化や認知機能低下」は北陸、中国で、それぞれ高くなっている。また、第4回調査を実施した今年3月時点では、「生活維持が難しくなる」は北関東、北陸、中国、北九州で、「運動不足による老化や身体機能低下」「コミュニケーション機会減少による老化や認知機能低下」は中国で、それぞれ高くなっている。9月から12月にかけての変化では、「生活維持が難しくなる」は北関東、東京都、甲信越、近畿および大阪府、四国で、「運動不足による老化や身体機能低下」は甲信越、大阪府、中国、四国で、「コミュニケーション機会減少による老化や認知機能低下」は北陸、大阪府、四国でそれぞれ増加する一方、「生活維持が難しくなる」は北九州、南九州で、「運動不足による老化や身体機能低下」は東北、北陸、東海および愛知県、南九州で、「コミュニケーション機会減少による老化や認知機能低下」は北海道、東北、甲信越、愛知県で減少している。また、12月から3月にかけては、いずれの項目についても多くの地域で横ばいしないし減少している中、「生活維持が難しくなる」は中国、南九州で、「運動不足による老化や身体機能低下」は東北、東京都、南九州で、「コミュニケーション機会減少による老化や認知機能低下」は北海道、東北、南九州で、それぞれ増加している。

図表 4 家族関係不安（子どもや高齢家族）

（単位：％）

		休校などによる	休校などにより	休校などにより	生活維持が難し	運動不足による	コミュニケー
		学習の遅れ	身体的な成長が	精神的な成長が	くなる	老化や身体機能	ション機会減少
			十分でないこと	十分でないこと		低下	による老化や認
							知機能低下
全体	9月	18.4	17.4	16.8	40.2	40.4	38.8
	12月	17.4	17.5	17.1	41.7	39.4	38.1
	3月	15.0	15.2	15.9	38.7	39.5	37.1
北海道	9月	13.6 ↓	10.4	10.4	32.8	36.8	34.4 ↓
	12月	10.0	9.2	7.5	34.2	35.8	30.0
	3月	11.9	10.2	11.0 ↑	33.1	35.6	36.4 ↑
東北	9月	20.5	17.9 ↑	21.4	42.0	42.9 ↓	44.6 ↓
	12月	17.8	21.2 ↓	20.3 ↓	39.8	37.3	36.4
	3月	14.4 ↓	17.8 ↓	16.1 ↓	37.3	41.5 ↑	40.7 ↑
北関東	9月	17.3	17.3	12.3	39.5 ↑	43.2	42.0
	12月	16.9	15.6	13.0	55.8 ↓	45.5 ↓	42.9 ↓
	3月	11.0 ↓	13.7	15.1	43.8 ↓	39.7 ↓	32.9 ↓
南関東	9月	17.7	17.2	17.6	38.5	40.8	38.2
	12月	16.5	17.8	18.4	40.5	38.1	36.9
	3月	16.0	17.9	16.1	37.0 ↓	39.4	36.5
うち東京都	9月	16.3	16.3	15.9	33.5 ↑	37.1	37.1
	12月	13.5	16.5	16.5	37.1	37.1	36.0
	3月	16.7 ↑	17.1	14.5	32.7 ↓	40.7 ↑	36.7
甲信越	9月	21.6 ↓	21.6 ↓	21.6 ↓	43.2 ↑	39.2 ↑	43.2 ↓
	12月	14.5	17.7	16.1	50.0	43.5	38.7
	3月	21.0 ↑	21.0 ↑	21.0 ↑	35.5 ↓	35.5 ↓	35.5 ↓
北陸	9月	24.2 ↓	15.2	18.2 ↓	45.5	42.4 ↓	36.4 ↑
	12月	17.6	17.6	14.7	47.1	38.2	52.9 ↓
	3月	15.4	17.9	23.1 ↑	48.7	38.5	28.2 ↓
東海	9月	21.4	22.6	17.9	44.8	43.3 ↓	43.3
	12月	22.2	20.2	20.2	45.7	39.9	42.0
	3月	19.0 ↓	16.4 ↓	19.0	40.1 ↓	41.4	39.7
うち愛知県	9月	23.5	23.5	18.1 ↑	43.6	42.3 ↓	47.0 ↓
	12月	24.3	22.9	23.6	41.4	38.6	39.3
	3月	20.0 ↓	16.4 ↓	20.0 ↓	37.9 ↓	41.4	40.0
近畿	9月	18.3	16.8	15.2	37.1 ↑	37.4	36.6
	12月	18.1	17.4	17.1	41.7	40.0	38.2
	3月	13.3 ↓	11.2 ↓	15.1	38.5 ↓	38.5	37.5
うち大阪府	9月	15.0	16.8	16.2	36.5 ↑	40.1 ↑	37.1 ↑
	12月	15.6	16.2	13.8	44.9	44.3	42.5
	3月	10.9 ↓	6.9 ↓	11.5	35.6 ↓	37.4 ↓	37.4 ↓
中国	9月	19.1	17.0 ↑	13.8 ↑	45.7	42.6 ↑	44.7
	12月	22.0	21.0	17.0	43.0	48.0	46.0
	3月	17.9 ↓	16.0 ↓	17.0	50.0 ↑	47.2	42.5 ↓
四国	9月	27.5 ↓	27.5 ↓	25.0 ↓	37.5 ↑	37.5 ↑	30.0 ↑
	12月	21.7	21.7	19.6	43.5	45.7	37.0
	3月	6.8 ↓	9.1 ↓	11.4 ↓	36.4 ↓	34.1 ↓	31.8 ↓
北九州	9月	15.4 ↓	13.5	16.3	50.0 ↓	43.3	36.5
	12月	11.8	12.7	13.7	42.2	42.2	35.3
	3月	10.5	13.3	13.3	43.8	40.0	34.3
南九州	9月	12.9 ↑	14.3	17.1	41.4 ↓	35.7 ↓	32.9
	12月	20.6	16.2	14.7	26.5	27.9	33.8
	3月	13.3 ↓	10.0 ↓	15.0	33.3 ↑	36.7 ↑	40.0 ↑

全体±5%pt以上に網掛け

9～12月、12月～3月で±3%pt以上の差がある場合に数値右側に上下矢印



## 6— 人間関係不安

人間関係に関わる不安についてみると、第2回調査を実施した昨年9月時点では、「友人や知人との関係に距離ができる」は東海で、「新たな出会いが減る」は中国、四国で、「監視が厳しくなり、他人に寛容でなくなる」は甲信越、北九州、南九州で、「家族と過ごす時間が増え、ストレスが溜まる」は北関東、東海および愛知県で、「家族と過ごす時間が増え、一人の時間が減る」は北関東、北陸、東海および愛知県で、「非対面のコミュニケーションが増え、トラブルが増える」は東北で、それぞれ高く、第3回調査を実施した昨年12月時点では「友人や知人との関係に距離ができる」は東北で、「新たな出会いが減る」は甲信越、中国、四国で、「監視が厳しくなり、他人に寛容でなくなる」は甲信越、北陸、北九州、南九州で、「家族と過ごす時間が増え、ストレスが溜まる」は甲信越、北陸、愛知県で、「家族と過ごす時間が増え、一人の時間が減る」は北陸、四国で、「非対面のコミュニケーションが増え、トラブルが増える」は北陸で高くなっている。また、第4回調査を実施した今年3月時点では、「友人や知人との関係に距離ができる」は東北、中国で、「新たな出会いが減る」は東北、四国で、「監視が厳しくなり、他人に寛容でなくなる」は四国で、「家族と過ごす時間が増え、ストレスが溜まる」、「家族と過ごす時間が増え、一人の時間が減る」は愛知県で、「非対面のコミュニケーションが増え、トラブルが増える」は北関東で、それぞれ高くなっている。

9月から12月にかけての変化では、いずれも横ばいしないし減少する地域が多い中、「友人や知人との関係に距離ができる」は四国で、「新たな出会いが減る」は甲信越で、「監視が厳しくなり、他人に寛容でなくなる」は甲信越、北陸、中国、四国で、「家族と過ごす時間が増え、ストレスが溜まる」は甲信越、北陸、四国で、「家族と過ごす時間が増え、一人の時間が減る」は北海道、東京都、甲信越、四国、北九州で、「非対面のコミュニケーションが増え、トラブルが増える」は北陸、四国でそれぞれ増加している。一方、12月から3月にかけては、「友人や知人との関係に距離ができる」は北海道、東北、北関東、北陸、中国で、「新たな出会いが減る」は北海道、東北、北関東、北陸、四国で、「監視が厳しくなり、他人に寛容でなくなる」は北海道、四国で、「家族と過ごす時間が増え、一人の時間が減る」は東海および愛知県で、「非対面のコミュニケーションが増え、トラブルが増える」は北関東、中国、北九州でそれぞれ増加し、「友人や知人との関係に距離ができる」の東京都、甲信越、「新たな出会いが減る」の甲信越、東海、大阪府、中国、北九州、「監視が厳しくなり、他人に寛容でなくなる」の甲信越、北陸、中国、北九州、南九州、「家族と過ごす時間が増え、ストレスが溜まる」の東北、北関東、甲信越、北陸、近畿、北九州、南九州、「家族と過ごす時間が増え、一人の時間が減る」の甲信越、北陸、四国、北九州、「非対面のコミュニケーションが増え、トラブルが増える」の東京都、甲信越、北陸、東海および愛知県でそれぞれ減少している。

図表 5 人間関係不安

(単位：%)

	月	友人や知人との 関係に距離がで きる	新たな出会いが 減る	監視が厳しくな り、他人に寛容 でなくなる	家族と過ごす時 間が増え、スト レスが溜まる	家族と過ごす時 間が増え、一人 の時間が減る	非対面のコミュ ニケーションが 増え、トラブル が増える
全体	9月	33.3	22.9	35.6	28.1	24.5	24.1
	12月	31.6	21.4	35.0	28.5	24.5	23.8
	3月	32.5	21.4	33.5	26.1	23.2	23.5
北海道	9月	22.4	16.0	32.0	23.2	16.0	23.2
	12月	21.7	14.2	28.3	21.7	20.0	22.5
	3月	29.7	17.8	34.7	22.0	20.3	23.7
東北	9月	36.6	21.4	37.5	29.5	25.0	32.1
	12月	37.3	22.9	35.6	32.2	21.2	25.4
	3月	40.7	27.1	37.3	26.3	21.2	27.1
北関東	9月	29.6	19.8	37.0	34.6	33.3	24.7
	12月	29.9	19.5	35.1	29.9	24.7	20.8
	3月	35.6	24.7	35.6	26.0	24.7	30.1
南関東	9月	32.3	23.1	34.3	25.1	21.9	22.5
	12月	32.3	19.4	33.9	27.2	24.4	23.3
	3月	29.8	20.1	34.0	27.2	22.9	23.0
うち東京都	9月	35.5	21.1	34.3	23.9	19.9	19.9
	12月	35.2	19.5	34.5	25.5	23.2	21.0
	3月	29.5	20.4	32.7	25.5	22.5	17.5
甲信越	9月	31.1	16.2	43.2	27.0	18.9	27.0
	12月	30.6	29.0	48.4	33.9	22.6	25.8
	3月	24.2	11.3	30.6	19.4	6.5	14.5
北陸	9月	33.3	15.2	36.4	18.2	30.3	24.2
	12月	32.4	17.6	44.1	35.3	32.4	35.3
	3月	35.9	25.6	23.1	28.2	20.5	25.6
東海	9月	40.1	24.6	36.1	34.9	31.3	28.2
	12月	33.3	25.1	34.2	32.1	24.3	25.9
	3月	34.1	21.6	33.6	31.0	27.6	22.0
うち愛知県	9月	38.3	24.8	35.6	39.6	34.9	28.2
	12月	32.9	23.6	32.9	34.3	25.0	25.7
	3月	32.9	24.3	35.0	31.4	29.3	19.3
近畿	9月	35.1	26.0	34.3	30.2	26.3	22.9
	12月	31.8	22.3	32.8	29.5	26.6	25.3
	3月	33.2	23.5	31.9	26.0	25.3	23.0
うち大阪府	9月	32.3	22.8	34.7	28.7	24.6	19.2
	12月	29.3	22.8	31.1	25.7	22.8	22.2
	3月	32.2	19.5	31.0	25.9	22.4	21.3
中国	9月	36.2	29.8	33.0	31.9	28.7	22.3
	12月	30.0	27.0	38.0	29.0	23.0	22.0
	3月	41.5	23.6	32.1	26.4	25.5	28.3
四国	9月	27.5	35.0	35.0	12.5	17.5	20.0
	12月	32.6	28.3	39.1	28.3	30.4	26.1
	3月	31.8	31.8	50.0	27.3	27.3	27.3
北九州	9月	31.7	18.3	41.3	27.9	21.2	25.0
	12月	31.4	20.6	40.2	27.5	25.5	17.6
	3月	34.3	17.1	27.6	21.0	21.0	23.8
南九州	9月	31.4	18.6	42.9	30.0	27.1	20.0
	12月	27.9	17.6	42.6	20.6	20.6	17.6
	3月	26.7	20.0	35.0	16.7	20.0	18.3

全体±5%pt以上に網掛け

9～12月、12月～3月で±3%pt以上の差がある場合に数値右側に上下矢印

## 7— 行動不安

コロナ禍での行動に関わる不安についてみると、第2回調査を実施した昨年9月時点では、「感染リスクから、店舗での買い物がしにくくなる」は東北、甲信越で、「感染リスクから、電車やバスを利用しにくくなる」は南関東および東京都で、「感染リスクから、タクシーを利用しにくくなる」は東北で、「感染リスクから、飛行機を利用しにくくなる」は北海道、南九州で、「感染リスクから、外食がしにくくなる」は北陸で高く、第3回調査を実施した昨年12月時点では、「感染リスクから、店舗での買い物がしにくくなる」は四国、南九州で、「感染リスクから、電車やバスを利用しにくくなる」は南関東および東京都で、「感染リスクから、タクシーを利用しにくくなる」は北海道、四国で、「感染リスクから、外食がしにくくなる」は甲信越、北陸、四国で高くなっている。また、第4回調査を実施した3月時点では、「感染リスクから、店舗での買い物がしにくくなる」は東海で、「感染リスクから、電車やバスを利用しにくくなる」は愛知県で、「感染リスクから、タクシーを利用しにくくなる」は東北、中国で、「感染リスクから、飛行機を利用しにくくなる」は北海道、南九州で、「感染リスクから、外食がしにくくなる」は甲信越、北陸、四国で高くなっている。

9月から12月にかけての変化では、「感染リスクから、店舗での買い物がしにくくなる」は多くの地域で増加ないし横ばいの状態にあるなか、北海道、東北、愛知県では減少している。また、「感染リスクから、電車やバスを利用しにくくなる」は多くの地域で減少ないし横ばいの状態にある中、中国、四国、北九州、南九州で増加している。「感染リスクから、飛行機を利用しにくくなる」も同様に多くの地域で減少ないし横ばいの状態にある中、四国、北九州で増加している。一方、「感染リスクから、外食がしにくくなる」は北関東、甲信越、北陸、近畿および大阪府、四国、北九州で増加し、東北、東海および愛知県では減少している。12月から3月にかけては、ほとんどの項目、地域で減少ないし横ばいの状態にある中、「感染リスクから、電車やバスを利用しにくくなる」の東北、北関東、東海、「感染リスクから、タクシーを利用しにくくなる」の東北、「感染リスクから、飛行機を利用しにくくなる」の北海道、中国、「感染リスクから、外食がしにくくなる」の東北、中国では増加している。

図表 6 行動不安

(単位：%)

		感染リスクから、店舗での買い物がしにくくなる	感染リスクから、電車やバスを利用しにくくなる	感染リスクから、タクシーを利用しにくくなる	感染リスクから、飛行機を利用しにくくなる	感染リスクから、外食がしにくくなる
全体	9月	48.6	40.1	23.4	29.1	48.5
	12月	50.5	40.0	23.1	26.5	49.0
	3月	43.9 ↓	36.0 ↓	19.4 ↓	24.9 ↓	48.1 ↓
北海道	9月	49.6 ↓	34.4	25.6 ↑	36.8 ↓	46.4
	12月	42.5	31.7	29.2	28.3	47.5
	3月	43.2	33.9	20.3 ↓	34.7 ↑	49.2
東北	9月	54.5 ↓	41.1 ↓	28.6 ↓	22.3	48.2 ↓
	12月	49.2	28.0	16.9	21.2	38.1
	3月	47.5	35.6 ↑	28.0 ↑	22.0	45.8 ↑
北関東	9月	46.9 ↑	28.4	22.2	27.2	49.4 ↑
	12月	51.9	28.6	20.8	24.7	53.2
	3月	43.8 ↓	32.9 ↑	16.4 ↓	20.5 ↓	45.2 ↓
南関東	9月	46.6	45.3	22.8	30.0	49.8
	12月	49.0	45.8	22.4	27.6	47.3
	3月	42.3 ↓	38.7 ↓	18.0 ↓	25.8	49.2
うち東京都	9月	45.4 ↑	49.4	24.3	32.7 ↓	50.6
	12月	48.7	46.4	22.1	27.0	48.3
	3月	38.5 ↓	38.5 ↓	16.7 ↓	27.3	50.2
甲信越	9月	55.4	37.8	20.3	21.6	50.0 ↑
	12月	53.2	38.7	21.0	24.2	59.7
	3月	35.5 ↓	32.3 ↓	16.1 ↓	21.0 ↓	53.2 ↓
北陸	9月	39.4 ↑	27.3 ↓	21.2	21.2 ↓	57.6 ↑
	12月	50.0	23.5	23.5	17.6	61.8
	3月	46.2 ↓	23.1	15.4 ↓	15.4	59.0
東海	9月	52.0	40.1	22.6	28.2 ↓	51.6 ↓
	12月	51.9	37.4	21.4	23.9	48.1
	3月	49.6	40.5 ↑	20.7	25.9	50.0
うち愛知県	9月	53.0 ↓	43.6	18.8	25.5	49.7 ↓
	12月	49.3	40.7	20.0	22.9	45.7
	3月	47.9	41.4	17.9	23.6	47.9
近畿	9月	49.0	44.8	25.8	30.2	45.6 ↑
	12月	51.1	43.2	25.6	28.8	51.4
	3月	43.4 ↓	38.3 ↓	20.9 ↓	24.0 ↓	46.4 ↓
うち大阪府	9月	42.5 ↑	43.7	26.3	28.7	44.9 ↑
	12月	49.1	43.1	25.1	28.1	48.5
	3月	43.1 ↓	36.8 ↓	19.0 ↓	25.9	43.1 ↓
中国	9月	46.8 ↑	31.9 ↑	19.1 ↑	28.7 ↓	43.6
	12月	53.0	41.0	23.0	19.0	46.0
	3月	48.1 ↓	29.2 ↓	24.5	25.5 ↑	51.9 ↑
四国	9月	45.0 ↑	35.0 ↑	27.5	25.0 ↑	50.0 ↑
	12月	60.9	41.3	28.3	30.4	63.0
	3月	45.5 ↓	31.8 ↓	11.4 ↓	22.7 ↓	54.5 ↓
北九州	9月	47.1 ↑	29.8 ↑	17.3 ↑	24.0 ↑	44.2 ↑
	12月	51.0	34.3	22.5	29.4	51.0
	3月	39.0 ↓	27.6 ↓	13.3 ↓	19.0 ↓	37.1 ↓
南九州	9月	50.0 ↑	21.4 ↑	24.3	40.0 ↓	51.4
	12月	57.4	35.3	22.1	29.4	48.5
	3月	46.7 ↓	23.3 ↓	20.0	30.0	40.0 ↓

全体±5%pt以上に網掛け

9～12月、12月～3月で±3%pt以上の差がある場合に数値右側に上下矢印

## 8— 結果の総括

以上みてきたとおり、感染不安、経済不安、働き方不安、家族関係不安と人間関係不安、行動不安と、いずれの局面における不安についても、各調査時点である昨年の9月、12月、今年3月の3時点間ではそれぞれ様々に変化している上、地域によってもそれぞれ異なっていた。こうした差異は生活行動や生活時間と同様、それぞれの時点、それぞれの地域における感染拡大の状況のほか、在宅勤務に関わる不安や交通手段に関する不安など、それぞれの地域固有の特性による影響も受けた結果であるように思われる。ただし全国的な傾向としてみれば、昨年の9月から12月にかけては、1月の緊急事態宣言の発出につながる感染拡大傾向を、12月から3月にかけては、緊急事態宣言が解除されるまでの感染者数の減少傾向のほか、冬から春という季節の移り変わりに伴う気分の変化を、それぞれ受けた結果が現れているものと考えられよう。